

令和5年度 第2回麒麟のまち創生戦略会議 議事概要

日時：令和5年11月2日（木）午後4時10分～5時15分

場所：香美町役場 3階 大会議室

出席者：鳥取市長、岩美町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、香美町長、新温泉町長

1 開 会 鳥取市長あいさつ

2 議 題

(1)「日本遺産・麒麟のまち推進協議会」令和5年度進捗状況報告および令和6年度事業計画・収支予算（案）について **資料1**

＜岩美町長＞

令和7年度の継続認定審査の詳細を分かる範囲で教えてほしい。また、PRグッズとして考えているものがあれば教えてほしい。

＜事務局＞

継続認定審査の内容として、現時点で把握している情報としましては、令和6年度末あたりに、これまでの6年間の取組実績及び実績を踏まえた今後7～9年度までの新たな取組計画を提出することになります。そのやりとりの後、令和7年4月以降、現地調査が入ってくる予定です。以前、継続認定審査を受けた三朝町や大山町に聞き取りをしながら準備を進めたいと考えています。

PRグッズにつきましては、これまでのイベント等で無料配布した缶バッジやステッカー、クリアファイルなど、なるべく子どもさんに受けるような、かつ単価が安く手に入りやすいものを考えております。今後、幹事会などで検討していきたいと思っております。

(2)麒麟のまち観光局 令和5年度事業の進捗状況及び令和6年度事業計画・予算（案）について **資料2**

＜岩美町長＞

麒麟のまち観光DXプラットフォーム構築事業については、非常に優良な取組であると思う。データ収集が進んでいないように思うが、これからどう強化していくのか。今後の展開をどう考えているか教えてほしい。

＜事務局＞

6月補正予算を活用し、宿泊データ分析システムを構築中です。観光CRMシステムについては、会員募集を始める中で、会員向けにキャンペーンを打ち、そこでキャンペーンで会員さんが利用されたお店のデータなどを3月末までかけて取得していきます。市町毎のデータは、来年4月以降に見られるような環境を作っていけるよう準備をしております。分析頻度については、来年度以降、四半期に1回程度を目安に、分析結果として皆さんに提供し

ていくスキームで進めたいと考えております。

《岩美町長》

麒麟のまちDMOの職員採用について、体制を強化することについては、まあそうなのかなと思う。地方公共団体でも採用が難しい中で、今後増やしていくあてがあるのか。

《事務局》

近畿日本ツーリストに勤めておられた方で、現在関西の広域DMOにおられる方と交渉中です。また、県外で活動する地域おこし協力隊隊員など、現在トータルで4名ほどを人選に含めながら、今日の皆さんのお話を踏まえながら最終的な決定をしていくという段取りです。

《岩美町長》

我々も、負担金を出す以上、どういう見返りがあったのかは問わなければいけないと思うが、拙速に答えを求めていくべきではなく、積み上げていかないといけないことはわかっている。その中で、市町観光協会と麒麟のまちDMOとの業務連携について。これからどう構築していくのか、考えを聞かせていただきたい。

《麒麟のまちDMO：田村専務》

各市町で状況が違うので一律の方法ということではないですが、機能の再編を考えています。人を減らすという意味ではなく、役割分担を見直すという観点で、各市町の観光協会と個別に意見交換をしながら進めていきたいと考えています。

(3) 第1期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの取組結果について

.....資料3

《岩美町長》

提案になるが、金曜日にバスに乗ると運賃が半額になるノルデカードの取組を、鉄道に広げることを検討していただきたい。鉄道を残していこうと思ったら、今乗っていない人をどう乗せるかという動機づけがあると思う。金銭負担を軽くできないか。共同事業としてJRに協力金を支払うような形でも構わないので、山陰線、因美線も含め、全体的な取組として鉄道を残していく新しい仕掛けができないか。ここでは方向性だけ決め、あとは実務レベルでの検討をお願いしたい。

《事務局》

事務方で検討し、報告させていただくこととしたいと思います。

(4) 第2期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの新たな取組について

①「麒麟のまち孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業（案）について

.....資料4-1

(質疑応答なし)

②「太陽光発電設備等共同購入事業（案）」について

・・・・・・・・資料4-2

《岩美町長》

公募型プロポーザルによる事業者選定について、1者になるのか。

《事務局》

共同購入を行う事業全体をプロデュース、調整するという性質上、1者を考えています。

《若桜町長》

一括購入で住民のみなさんの購入費用も抑えられるし、自治体も予算の負担なくいい話と思って若桜町も参加させていただくが、実施区域が鳥取市、若桜町、新温泉町だけとなっている。他の自治体は何かネックというか障害になっていることがあるのか。

《岩美町長》

我々自治体が看板を貸すところが1者である、というのがネックとなっている。複数者あって住民が選択できるのであればいいかなと思う。スケールメリットを出すなら1者がいいのは分かっているが、特定の事業者に対してお墨付きを与えるような形になるのはどうかと思った。

《八頭町長》

プロポーザルの対象として想定しているのは、鳥取市が関係している事業者か。

《事務局》

鳥取市が関係しているということではありません。プロポーザルによって決める、事業全体のプロデュースをする実施事業者は1者で、全国的に募集をさせていただきます。実際に太陽光発電設備等の販売や設置にかかる施工を担当する業者は、圏域の地元企業を中心にやっていただくことになろうかと思えます。

《八頭町長》

それであれば、1者に限定しなくても良いのでは。

《事務局》

事業全体のプロデュースをする実施事業者は1者ですが、実際に太陽光発電設備等の販売や設置などを担当するのは地元の業者になるようにしていきたいと思えます。

参考ですが、岡山市を中心とする連携中枢都市圏でもこういった事業を一昨年から実施しておられ、圏域13市町のうち今年度は7市町で実施しておられます。

《若桜町長》

公募をかけた上で、プロポーザルで1者に絞って一括契約を結ぶということか。町民さんとしては、本事業を利用せず他社も選択できるが、本事業のこの1者と契約したら、これくらいの安い金額でできますよ、と。もちろんそこに限定されるわけではなく、住民の方が他の業者がよければそちらを選ぶ選択肢はあるけども、この1者についてはこの金額でできますよ、というような広報になるのか。

《事務局》

そのとおりです。本事業は一括購入によるスケールメリットをいかして、太陽光発電の周

知も含めて広報をすることにはなりますが、この事業を利用するか、他を選択されるか、あくまでも最終的には住民の皆さまに選択していただくというかたちになります。

(5) 鳥取駅周辺の再生に向けた取組について

.....資料5

(質疑応答なし)

(6) その他

≪新温泉町長≫

先日、米子駅を利用した。米子駅ではI C O C Aが使えたが、鳥取駅には自動改札がなくI C O C Aも使えない。新温泉町にもない。そういったところに支援制度があればいいと思う。山陰線が取り残されてしまう。

≪岩美町長≫

皆で要望しよう。

3 閉会